



## ユーザ設定

---

[User Settings] ページでは、マウスとキーボードの設定、PCoIP プロトコル画質、およびディスプレイ トポロジを定義するタブにアクセスできます。

- [VMware View の証明書確認設定, 1 ページ](#)
- [マウス設定, 3 ページ](#)
- [キーボード リピート設定, 4 ページ](#)
- [\[Image\] タブ, 6 ページ](#)
- [ディスプレイ トポロジの設定, 6 ページ](#)
- [タッチ スクリーンの設定, 11 ページ](#)

## VMware View の証明書確認設定

ユーザは [VMware View] ページで、サーバにセキュアな接続が確認できない場合のクライアントの動作を選択できます。



(注) [VCS Certificate Check Mode Lockout] が管理 Web インターフェイスで有効になっている場合、このページで設定を変更することはできなくなります。[VCS Certificate Check Mode Lockout] オプションの詳細は、[VMware View 接続の設定](#)を参照してください。

図 1 : [VMware View] ページ

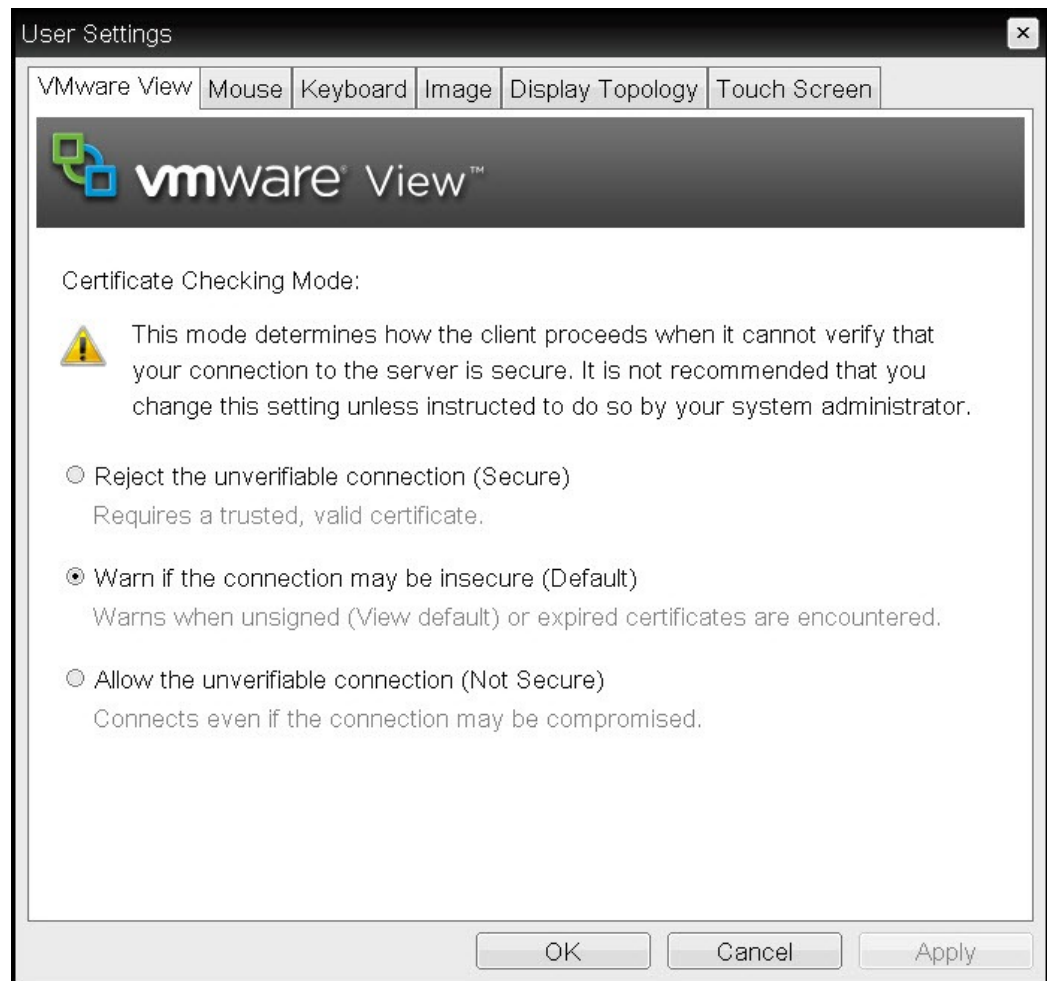


表 1 : [VMware View] の証明書確認パラメータ

パラメータ	説明
Reject the unverifiable connection	信頼された有効な証明書がインストールされていない場合に接続を拒否するようクライアントを設定します。

パラメータ	説明
Warn if the connection may be insecure	未署名または期限が切れた証明書が検出される、または証明書が自己署名されておらず、ゼロクライアント信頼ストアが空の場合に警告を表示するようクライアントを設定します。
Allow the unverifiable connection	すべての接続を許可するようクライアントを設定します。

## マウス設定

[Mouse] ページでは、OSD セッションのマウス カーソルの速度設定を変更できます。



(注) この機能は、OSD からのみ使用できます。管理 Web インターフェイスでは使用できません。

図 2 : OSD : [Mouse]

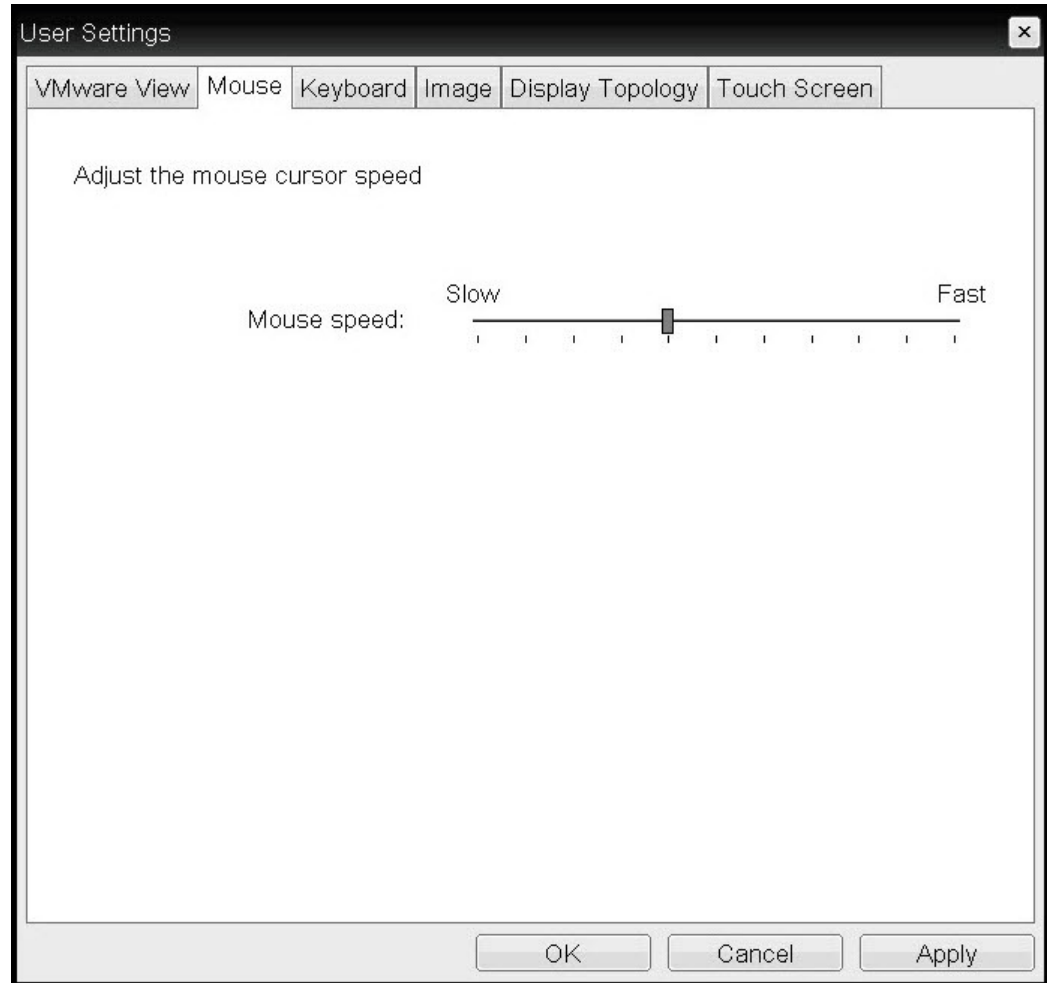


表 2 : [Mouse] のパラメータ

パラメータ	説明
Mouse Speed	マウスカーソルの速度を設定します。

## キーボードリポート設定

[Keyboard] ページでは、OSD セッションのキーボードリポート設定を変更できます。



(注) この設定は、OSD からのみ使用できます。管理 Web インターフェイスには表示されません。

図 3 : [Keyboard] ページ

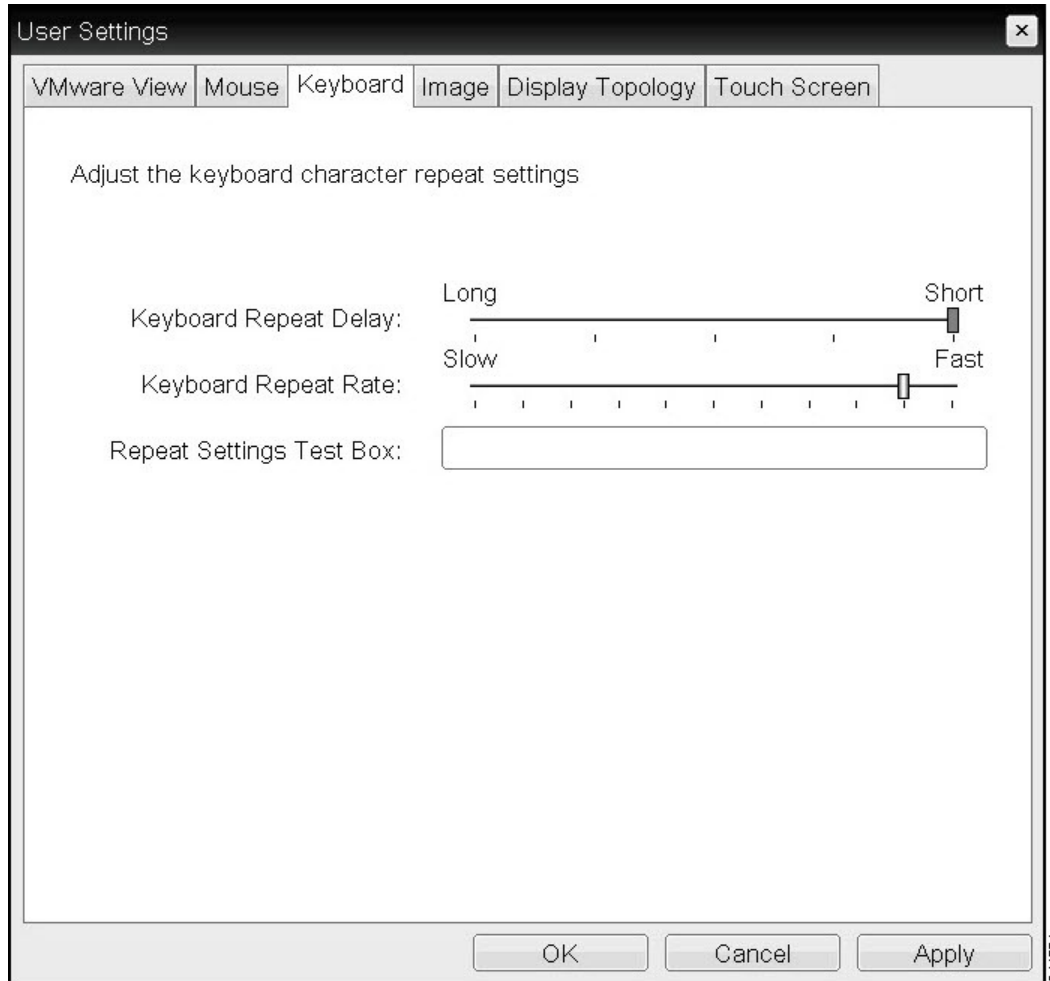


表 3 : [Keyboard] のパラメータ

パラメータ	説明
Keyboard Repeat Delay	クライアントキーボードのリピート遅延を設定できます。
Keyboard Repeat Rate	クライアントキーボードのリピート速度を設定できます。
Repeat Settings Test Box	選択したキーボード設定をテストできます。

## [Image] タブ

画質の調整の詳細は、[画質設定](#)を参照してください。

## ディスプレイ トポロジの設定

[Display Topology] ページでは、PCoIP セッションの表示位置、回転、および解像度を変更できます。クライアントと仮想マシン (VM) 間の PCoIP セッションに表示トポロジ機能を適用するには、VMware View 4.5 以降が必要です。



(注)

- 管理インターフェイスには、[Display Topology] タブに対応するメニューがありません。
- ディスプレイ トポロジ設定を変更する場合は、常にクライアントの [OSD] > [Options] > [User Settings] で [Display Topology] タブを使用してください。VMware View を使用している場合は、仮想マシンの [Windows Display Settings] を使用してこれらの設定を変更しないでください。

[Display Topology] ページを表示する手順は、次のとおりです。

- 1 [OSD] で [Options] をクリックし、[User Settings] をクリックします。
- 2 [Display Topology] タブをクリックします。

[Display Topology] ページが表示されます。

図 4 : [Display Topology] ページ

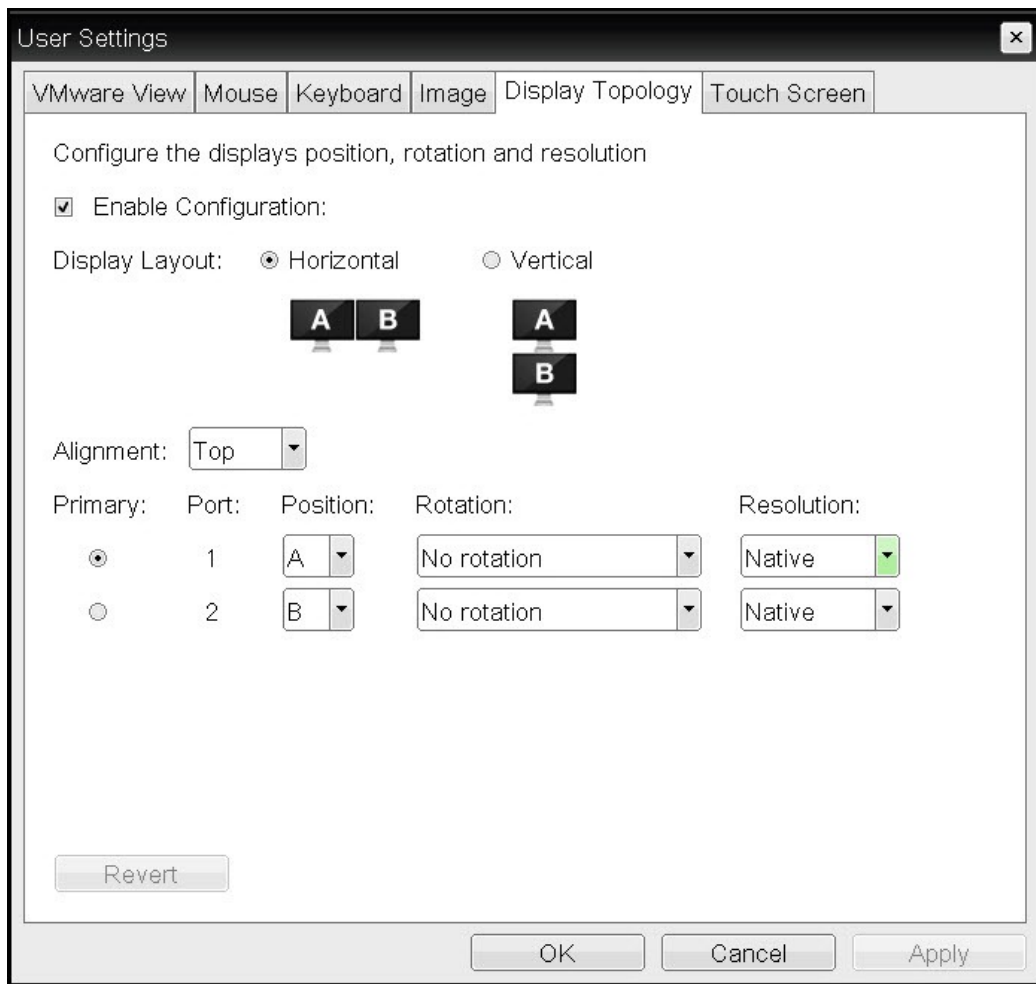


表 4 : [Display Topology] のパラメータ

パラメータ	説明
Enable Configuration	デバイスの表示位置、回転、および解像度についてデバイスを設定できるようにします。設定は、[Apply] または [OK] をクリックすると保存され、デバイスをリセットすると適用されます。

パラメータ	説明
Display Layout	<p>ディスプレイ（A および B）を横または縦にレイアウトするかどうかが選択します。この設定は、デスクのディスプレイの物理レイアウトを反映しているはずですが。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [Horizontal] : A と B を横向きにして A を B の左側に配置する場合に選択します。</li><li>• [Vertical] : A と B を縦向きにして A を B の上側に配置する場合に選択します。</li></ul> <p>(注) 最大 2 台のディスプレイを同時に有効にできます。</p>



パラメータ	説明
Alignment	<p>A と B のサイズが異なる場合に、どのように配列するかを選択します。</p> <p>(注) この設定は、あるディスプレイから別のディスプレイにカーソルを移動したときに画面のどの領域を使用するかに影響があります。ドロップダウンリストに表示される配置オプションは、ディスプレイのレイアウトを横または縦にしたかどうかにより異なります。</p> <p>横のレイアウト：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Top]：A と B を上部に配列する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイの間をナビゲートする際に、画面の上部を使用します。</li> <li>• [Center]：A と B を横向き中央に配置する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイの間をナビゲートする際に、画面の中央部を使用します。</li> <li>• [Bottom]：A と B を下部に配列する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイの間をナビゲートする際に、画面の下部を使用します。</li> </ul> <p>縦のレイアウト：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Left]：A と B を左側に配列する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイの間をナビゲートする際に、画面の左側を使用します。</li> <li>• [Center]：A と B を縦向き中央に配置する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイの間をナビゲートする際に、画面の中央部を使用します。</li> <li>• [Right]：A と B を右側に配列する場合に選択します。この設定では、サイズが異なるディスプレイの間をナビゲートする際に、画面の右側を使用します。</li> </ul>

パラメータ	説明
Primary	<p>ゼロクライアントのどの DVI ポートをプライマリポートとして使用するかを設定します。</p> <p>(注) プライマリポートに接続されているディスプレイはプライマリディスプレイになります (PCoIPセッションの開始前に OSD メニューが表示されるディスプレイで、セッションの開始後に Windows タスクバーが要求されるディスプレイです)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Port 1] : ゼロクライアントの DVI-1 ポートをプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> <li>• [Port 2] : ゼロクライアントの DVI-2 ポートをプライマリポートとして設定する場合に選択します。</li> </ul>
Position	どのディスプレイを物理的にポート 1 およびポート 2 に接続するかを指定します。
Rotation	<p>ポート 1 およびポート 2 のディスプレイの回転を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• No rotation</li> <li>• 90° clockwise</li> <li>• 180° rotation</li> <li>• 90° counter-clockwise</li> </ul>
Resolution	仮想マシンとゼロクライアント間の PCoIP セッションの表示解像度を設定できます。ゼロクライアントはサポートされているモニタの表示解像度を検出し、ドロップダウンメニューに表示します。デフォルトでは、ディスプレイの本来の解像度が使用されます。
Revert	このページの設定を、最後に保存された設定にリセットします。

## タッチスクリーンの設定

[Touch Screen] ページでは、付属の Elo TouchSystems タッチスクリーンディスプレイの設定と部分的な較正ができます。



(注) [Touch Screen] ページは OSD からのみ使用できます。管理 Web インターフェイスからは使用できません。

図 5: OSD のタッチスクリーンページ

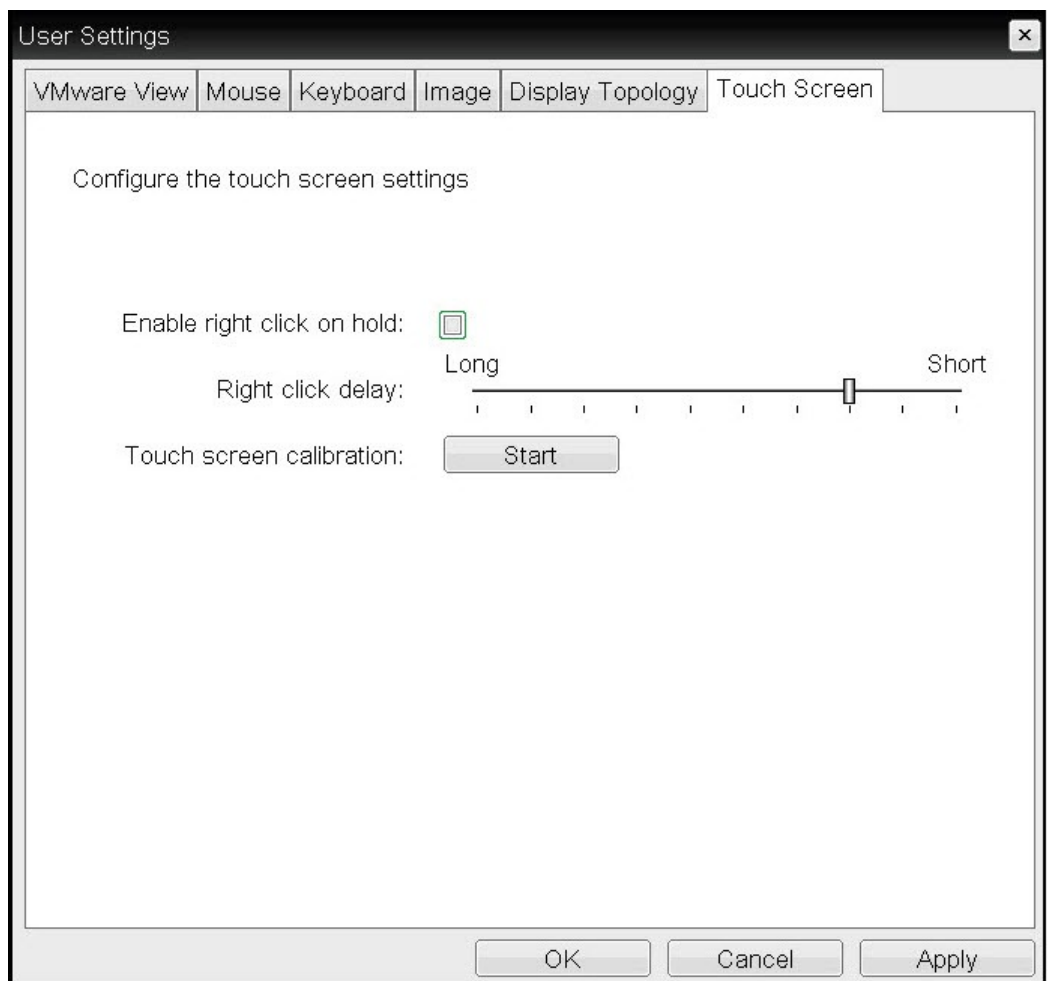


表 5: OSD のタッチスクリーンページのパラメータ

パラメータ	説明
Enable right click on hold	ユーザが数秒間画面にタッチしたままの状態 で、右クリックができるようにする場合に、こ のチェックボックスをオンにします。 オフの場 合は、右クリックはサポートされません。
Right click delay	([Long] と [Short] の間で) ポインタをスライド させ、右クリックを可能にするのに画面をタッ チしておく時間の長さを決めます。
Touch screen calibration	最初にタッチスクリーンをゼロクライアント に接続すると、較正プログラムが開始します。 タッチスクリーンで、表示される 3 つのター ゲットをそれぞれタッチします。  較正をテストするには、指をモニターでスワイ プし、カーソルがそれに従って動作するか確認 します。動作しない場合は、較正プログラムが自 動的に再起動します。較正が終了したら、座標 がフラッシュメモリに保存されます。  較正プログラムを手動で開始するには、[OSD Touch Screen] ページで [Start] をクリックしま す。画面の指示に従います。

### タッチスクリーンのゼロクライアントへのインストール

- 1 タッチスクリーンの USB ケーブルをゼロクライアントの USB ポートに接続します。
- 2 タッチスクリーンのモニターケーブルをゼロクライアントの DVI 1 ポートに接続します。  
タッチスクリーンに加えて、非タッチスクリーンモニターをゼロクライアントに接続できます  
(複数のタッチスクリーンをゼロクライアントに接続することはできません)。タッチスク  
リーンは DVI1 に接続する必要があるため、2 つ目の非タッチスクリーンモニターは DVI 2 に接  
続する必要があります。タッチスクリーンのみゼロクライアントに接続している場合は、DVI  
1 または DVI 2 のいずれかに接続できます。
- 3 電源コードを差し込みます。
- 4 ゼロクライアントセッションを切断します。これにより、タッチスクリーンで較正が開始し  
ます。  
タッチスクリーンが較正されると、座標がフラッシュメモリに保存されます。必要に応じて  
[OSD Touch Screen] ページから、画面を手動で再較正できます。
- 5 タッチスクリーンに表示される指示に従って操作します。指を使用して較正をテストできま  
す (カーソルが指に沿って動くはずです)。画面が正しく較正されていないと、較正プログラ  
ムが自動的に開始します。

タッチスクリーンをブリッジデバイスとして設定する



(注) この手順は任意で、タッチスクリーンをブリッジデバイスとして設定したい場合のみ必要です。

セッションがアクティブな間、タッチスクリーンを仮想マシンで動作するドライバで制御させない場合があります。この設定を行うには、タッチスクリーンをブリッジデバイスのリストに追加する必要があります。

- 1 前述の手順に従って、タッチスクリーンをゼロクライアントにインストールしてください。
- 2 ゼロクライアントの管理 Web インターフェイスにログインします。
- 3 [Info] メニューで、[Attached Devices] をクリックします。
- 4 タッチスクリーンの詳細が、このページに表示されるはずです。PID と VID 情報をメモします。

図 6 : [Attached Devices] ページ

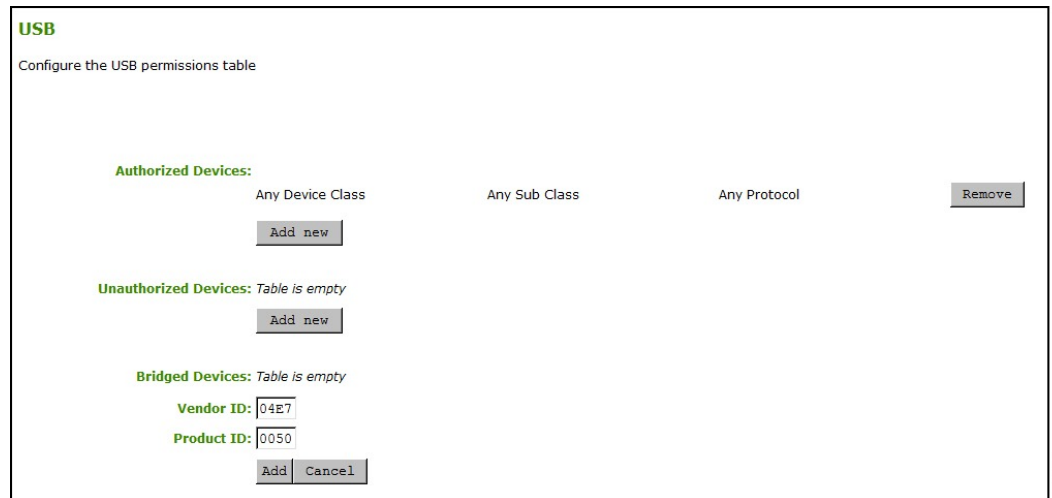
Attached Devices									
View presently connected monitors and USB devices									
Displays:									
Port	Model	Status	Mode	Resolution	Serial	VID	PID	Date	
1	BenQ EW2420	Connected	DVO	1920x1080 @ 60 Hz	V7B00284067	BNQ	7923	30-2011	
2	BenQ EW2420	Connected	DVO	1920x1080 @ 60 Hz	93B02607026	BNQ	7923	10-2011	
USB Devices:									
Port	Model	Status	Device Class	Sub Class	Protocol	Serial	VID	PID	Control
OHCI	USB Optical Mouse	Locally Connected	00	00	00	-	046D	C05A	
OHCI	USB Keyboard	Locally Connected	00	00	00	-	046D	C31C	
OHCI	Elo TouchSystems 2216 AccuTouch® USB Touchmonitor Interface	Locally Connected	00	00	00	50U17352	04E7	0050	

3444822

- 5 [Permissions] メニューで、[USB] をクリックし、[USB] ページを表示します。

- [Bridged Devices] エリアで、[Add New] をクリックします。

図 7: [USB] ページ



- タッチスクリーンの [Vendor ID] と [Product ID] を入力し、[Apply] をクリックします。
- ゼロクライアントセッションを再起動します。
- Elo TouchSystems からタッチスクリーンドライバをインストールします。インストールと較正の方法については、Elo TouchSystems のマニュアルを参照してください。

#### VMware View ホストに自動的にログインするようにゼロクライアントを設定する

タッチスクリーンデバイスにもっと簡単にログインするには、[VMware View Login] ウィンドウからキーボードをバイパスできます。この設定を行うには、[VMware View Login] ウィンドウの [Connect] にタッチする必要があります（あるいは、ユーザ名とパスワードを入力して [Connect] にタッチします）。

- 管理 Web インターフェイスにログインします。
- [Configuration] メニューで [Session] を選択します。
- [Session Connection Type] ドロップダウンリストで、[View Connection Server + Auto-Login] を選択します。
- VMware View Connection サーバの DNS 名または IP アドレスを入力します。
- 資格情報を記入し、[Apply] をクリックします。